

# 学びや

1869(明治2)年に創設された64の京都番組小学校。最初のその構想を立ち上げたのは、行政ではなく、幕末の手習塾(寺子屋)の師匠でした。

幕末、政争で京都市中が混乱していた頃、高倉通錦小路上ル貝屋町(現在の錦市場西口の北)に、江戸時代後期から続く手習塾・篤志軒がありまし

その師匠である西谷昌國<sup>昌國</sup>の「園」(1824-91年)は、1866(慶応2)年に刊行された福沢諭吉の「西洋事情 初編」を読み、新しい時代にふさわしい学区制小学校の構想を得ます。早速、市中の有志たちと協力しながら、京都の町奉行所に「口上書」を出し、そこで新しい学校の設置を訴えました。

終わり、京都府が設  
されてからです。府  
は、広沢真臣ひろさわ しんちという長  
の実力者、次いで後の  
知事になる同じく長  
出身の楳村正直が派  
されました。彼らは西  
が68年8月に府へ提  
した小学校構想に理  
を示し、翌月末、西谷  
をほぼ採用した「小学  
設立計画の示達」を出  
ます。

町衆という三者の間に置くに見のやりとりが何度かにわたる中で、町組会所を兼ねる小学校とするところ、「確金」で学校運営をしていくこと、学校建設費を番組有志の寄付とし、府から融資で賄うこと、などが決められていました。

しかし、当時は政争の幕末、政争で京都市中が混乱していた頃、高倉り、町奉行所は西谷の意通錦小路上ル貝屋町（現見に耳を傾けることはある錦市場西口の北）に、りませんでした。た。江戸時代後期から続く手習塾・篠志軒がありましは、1868（同4）年に鳥羽・伏見の戦いが

## 新しい学区制小学校訴え

それからは再び自家で  
の常設展  
私塾を開き、塾名を青々  
だけます

学校歴史博物館(下京区)  
の常設展示室でご覧いた  
だけます。



**上**番組小学校の構想を立ち上げた西谷良輔  
**下**1972年に建てられた「舊々塾跡」の碑  
(京都市中京区高倉通錦小路上ル)



**上**番組小学校の構想を立ち上げた西谷良輔  
**下**1972年に建てられた「舊々塾跡」の碑  
(京都市中京区高倉通錦小路上ル)

